

「請願」の力、政治を変える

日本共産党議員団は、「政治の中身を変えてほしい」という市民や団体からの請願、また、国や県に意見書提出を求めるなど、積極的に紹介議員になり、全力で実現へがんばっています。

日本共産党議員団

請願	賛成	反対	退席
後期高齢者医療制度をただちに廃止することを求める	日本共産党	民主市民クラブ・政雲会・公明党 智政会・自治市民クラブ・前田	
保険により良い歯科医療の実現を求める	日本共産党	民主市民クラブ・政雲会・公明党 智政会・自治市民クラブ・前田	
選択的夫婦別姓を認める民法の一部改正に反対する	政雲会・吉田・吉富 梶田・安田未・前田	日本共産党・公明党・自治市民クラブ 小山・越田・津田・多久和・西山	土田

2010年3月議会



志水
(欠席)

いのち守りきる立場を一貫
… 日本共産党議員団

この間、国の社会保障拡充に対しての請願が多くなっています。「人工内耳装用者への支援を求める意見書提出を求める請願」は全員一致で採択。

「介護保険制度の抜本的な基盤整備を求める請願」は、保守・民主市民クラブの反対で不採択になりました。

2009年12月議会



前田
(欠席)

市民の請願採択
新年度予算に反映

請願	賛成	反対	退席
就学前の子どもの医療費無料化を求める	日本共産党・公明党・自治市民クラブ 土田・小山・津田・上馬・松田・宮路・倉谷	智政会・多久和・越田 中礼・久保	
入浴サービス事業の継続を求める	日本共産党・公明党・智政会 土田・小山・多久和・倉谷・松田	自治市民クラブ・越田・津田 宮路・中礼・上馬・久保	
障がい者医療費助成制度に関する	日本共産党・公明党・智政会・自治市民クラブ 小山・土田・津田・倉谷・上馬	越田・松田・久保・中礼	宮路

「高齢者の入浴サービス」突然の廃止に対して「継続」を求める請願が2件。年間約61000人の方が利用し、高齢者の交流、介護予防にもなっているサービスです。12月議会、

「入浴サービスの役割は終わった」と北上議員が反対討論。賛成多数で請願は採択され、2010年度は「継続」に。他の請願も「住民の声」を反映し、一步前進の予算がつきました。

交渉団体	幹事長	所属議員名					人数
日本共産党議員団	黒田美智	土谷一郎	住田由之輔	大塚寿夫			4人
民主市民クラブ	小山敏明	越田謙治郎	安田忠司	津田加代子	土田忠	多久和桂子	6人
政雲会	中礼思無哉	倉谷八千子	上馬勇	宮路尊士	松田恭男	久保義季	6人
公明党	岩田秀雄	江見輝男	平岡謙	大矢根秀明	志水隆司		5人
智政会	西山博大	吉田進	吉富幸夫	梶田忠勝	安田未廣		5人
自治市民クラブ	小西佑佳子	宮坂満貴子	北上哲仁				3人
交渉団体無所属		前田貢					1人

(議長…安田忠司)

国民の声で政治の流れを大きく変えよう



普天間基地は撤去を

普天間基地をはじめ、沖縄の米軍基地は住民から無理やり土地を奪って造ったものです。サンフランシスコ条約後も、抵抗する住民を強制的に排除し基地を拡張。奪ったものは、無条件に返して当然です。「移転先」は必要ありません。「撤去」こそ「沖縄県民」のいのちをかけた思いです。

民主党は、「県外・国外移設」が公約です。「沖縄と県外に分割」の方向は、国民への大きな裏切りです。

「アメリカより国民を大切にしろ」の世論を大きくしていきましょう。

うばす
「姥捨て山」拡充は許せない…
「後期高齢者医療制度」即時廃止を

年齢と障がいの有無で家族から切り離し、死ぬまで保険料を取りながら差別医療しか受けさせないひどい制度。市内でも、7000人の保険料が値上げ、2500万円の負担増になります。

「廃止」を言い、「負担増はしない」と公言してきた新政権。今度は「65歳以上を国民健康保険の別枠に入れる」案が浮上。「差別医療」の拡大につながるひどい提案です。あと1兆円で75歳以上、3000億円で就学前のこどもの医療費の無料化が実現できます。共に「長寿を喜べる社会」をつくりましょう。